





清明 美美	清 美	明 美	清明 美美	清 美	明 美	清 美	○		○	看 護	○	清 美				
コ ッ プ が 割 れ ち ゃ っ て 「 洗 っ て た ら さ 、	席 に 着 ぎ し た コ ン デ ス か ち 上 げ る 。	け す が 「 作 っ た 資 料 を コ ピ ー は す る だ 「	さ ん ど 終 わ れ た 資 料 を コ ピ ー は す る だ 「	出 来 丈 夫 本 当 に 遅 れ て ご め ん ね す 「	大 丈 夫 3 針 手 の だ だ め ん ね す 「	清 美 の 手 夫 の 見 か ら 「	株 式 会 社 の 入 社 し て 来 る 事 務 室 の 朝 急 いで、 自 転 車 に 乗 り、	冬 晴 れ の 澄 ん だ 朝 急 いで、 自 転 車 に 乗 り、	走 つ て の 行 く 澄 ん だ 朝 急 いで、 自 転 車 に 乗 り、	同 ・ 前 出 て 来 る 急 いで、 自 転 車 に 乗 り、	受 付 に 向 か う 行 っ て 来 る 「 と さ ら に 送 り、	師 「 村 さ ん の 縫 っ た 「 と い マ ホ イ ン が 来 、	パ カ ら 大 丈 夫 の 見 る と 来 、	△ △ 外 科 待 合 室 朝 の 手 甲 は 、	電 話 を す る 計 を 見 る と 8 時 過 ぎ 。 ス マ ホ で、	秀 斗 の 額 計 を 見 て 行 く よ く か ら、 清 斗 の こ と

明清 美美	明 美	明 美	清 美	明 美	○	清 美	清 美	清明 美美	清 美	明 美
清美と明美 本そと当ね うしよ まあ さあ 美美 つは は美 いそ 美ぎ ゝ落 すち か 課夫 長で もす 込ん だま ま 今日 、付 いて 無 さ	きま あ、 少眼 しを 待閉 っじ てと 直、 し 、ご 飯 食 べ に 行	明清 美美 つは は美 いそ 美ぎ ゝ落 すち か 課夫 長で もす 込ん だま ま 今日 、付 いて 無 さ	空は 美い ゆい あ日 に 当 たる 顔 に 来 る く だ	清す ぎ ゝ落 すち か 課夫 長で もす 込ん だま ま 今日 、付 いて 無 さ	○	清美 ま す 落 ち 込 ん だ ま ま 今日 、付 いて 無 さ	清明 美美 嘘本 見し 守よ っ い る が 正 し た く 移 行 が あ り ま	清明 美美 本け 本美 、し う 、ん ま ま 、私 の 痛 た お 母 さ ん め る 昔 、 コ ッ プ で 怪	清明 美美 我あ しあ て 、 私 の 操 作 し 始 め る 昔 、 コ ッ プ で 怪	清明 美美 我あ しあ て 、 私 の 操 作 し 始 め る 昔 、 コ ッ プ で 怪